

# MCE研究会／コンフリクトの人文学特殊演習

## ドイツ／ポーランド国境地帯と文学

講師：井上暁子（北海道大学スラブ研究センター非常勤研究員）

日時： 2012年1月27日（金）16:20～17:50

場所：大阪大学文学部ドイツ文学研究室（本館 4F）

概要：ドイツ／ポーランド国境地帯は、国境線の移動に伴う領土編成と移住の長い歴史をもつ地域である。とくに第二次世界大戦後この地域で起こったドイツ系住民の強制移住は、数々のドイツ語文学の題材となってきた。本講演では、それがポーランド語文学に取り上げられるようになった経緯を紹介するとともに、「地域を表象することによって記憶を共有する試み」が文学作品を通して行われてきたことを明らかにする。

主催：大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文学」／  
「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」研究 PT／  
「音楽の生産・流通・消費におけるコンフリクト」研究 PT

問合せ：大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室（06-6850-5116）